

※
米の産地ニユース
岩手県地区



いわて純情米

澄んだ空気、元気な土、清らかな水。

そして、きまじめなまでに純情で情熱を持った農家が
丹精込めて育てたお米、それが「いわて純情米」です。

おいしいお米を作るにおいて、大切なのは水と土。岩手県では河川の水質を調べるため、川にすむさまざまな生物の生息状況の調査を行っています。この結果、岩手県は「きれいな水」と判定された地点の割合は9割近くと高く、良好な河川環境が保たれています。そして、畜産業も盛んな岩手県は、有機肥料の堆肥の施用量も全国トップクラス。大地の恵みを最大限に生かした元気な土は、「いわて純情米」のおいしさの源です。



「純情産地」いわての守り神
7人のひとり「コメおに」

お米が育つ岩手県の気候と立地

岩手県は南北に広がる奥羽山脈、北上山地により一日の気温差が大きいのが特徴です。気温差により多くの栄養を蓄えることができ稔りの良い米ができます。広大な岩手県は大きく三つに分けると、奥羽山脈がある日本海側は冬に積雪が多く、北上山地を望む内陸部は夏は暑く、冬は厳しい寒さ、沿岸部は海洋性気候で海流などの影響で冷涼な気候となっています。

四国四県に匹敵するほど広大な面積の岩手県は、北上山地などの山々に囲まれ夏は爽やかな気候なので、害虫や病気の発生、雑草の発生が抑えられ天然の防除機能を果たし、農薬や化学肥料の使用量を減らす環境にやさしい循環型農業を実現しました。山からの豊富な雪解け水と、地下水によって栄養が稲に浸透し美味しいお米ができます。



宮沢賢治の大地、岩手

賢治が残した農業への情熱は今なお・・・

岩手県の農業先駆者 ～宮沢賢治～

宮沢賢治は、農業において大切な基盤である土壌についての教えを多くの農家に伝え、その土地にふさわしい肥料を教え歩きました。現在では、当たり前のように行われている営農指導、土壌分析は宮沢賢治が残した大きな財産です。彼の残した教えや、農業への情熱は今も岩手県人に受け継がれています。



自然の力を信じています。

純情産地
いわて

JA全農いわて

僕たちが『純情産地』の守り神です。

